

行動経済学を EBPMに活かす ：ナッジの作り方：

2023年 2月11日(土)
13:30 ~ 16:30

基調講演

「ナッジの実践」

大竹 文雄

京都大学経済研究所 特任教授
大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任教授

パネルディスカッション

「国・自治体におけるEBPMの課題と 行動経済学の活用可能性」

会場 京都ガーデンパレス (御所 蛤御門前)

<https://www.hotelgp-kyoto.com/access/>

参加定員 会場対面 100名 (先着順)

参加費 無料

申込方法 ホームページよりお申し込みください
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/event/2023-01-18>
<https://form-registration.cscenter.co.jp/>

申込
QR

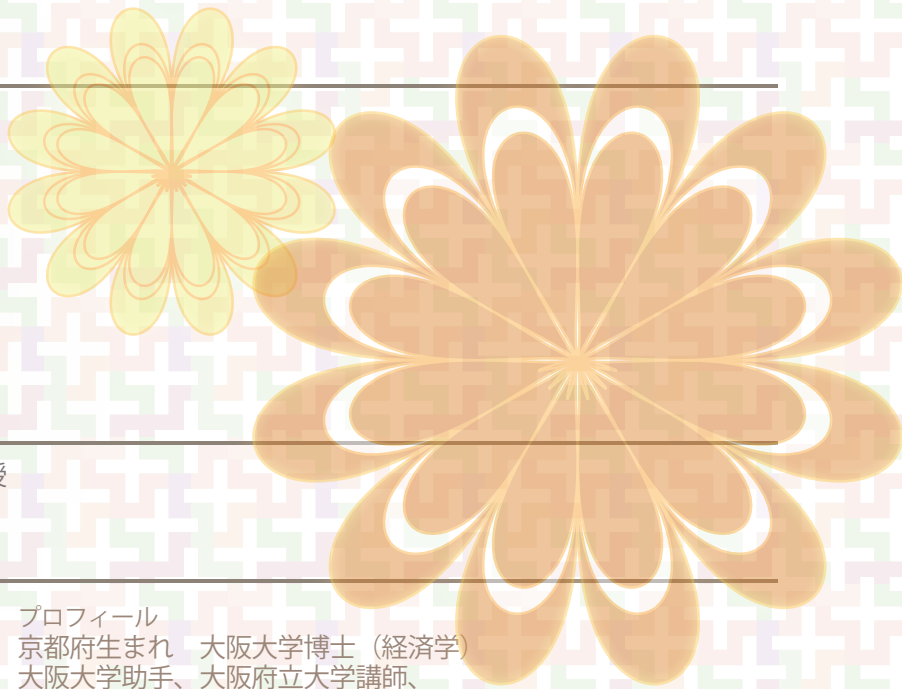


ハイブリット開催の予定、オンライン参加希望者が少数の場合は対面のみとなります。
(オンライン参加に関する情報は、オンライン参加希望者のみにお伝えします)

開会挨拶 13:30-13:35

岩井 一宏 京都大学プロボスト

理事・副学長



テーマの説明 13:35-13:50

西山 慶彦 京都大学経済研究所長・教授

基調講演 13:50-14:40

「ナッジの実践」

大竹 文雄

京都大学経済研究所 特任教授
大阪大学感染症総合教育研究拠点
特任教授

プロフィール

京都府生まれ 大阪大学博士（経済学）
大阪大学助手、大阪府立大学講師、
大阪大学社会経済研究所教授、
大阪大学大学院経済学研究科教授等を経て、2021年から現職。
専門は労働経済学・行動経済学。
格差問題の実態と原因を実証した
著書『日本の不平等—格差社会の幻想と未来』で日本学士院賞、
サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞などを受賞。
著書に『競争と公平感』『競争社会の歩き方』
『経済学は役に立ちますか？』『行動経済学の使い方』など。

休憩 14:40-15:00

パネルディスカッション 15:00-16:25

「国・自治体における EBPM の課題と 行動経済学の活用可能性」

【パネリスト】



大竹 文雄

(おおたけ・ふみお)

京都大学経済研究所 特任教授
大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任教授

【パネリスト】

西島 亨

(にしじま・とおる)

大阪府政策企画部
企画室長



池本 忠弘

(いけもと・ただひろ)

環境省大臣官房
総合政策課企画評価・
政策プロモーション室
ナッジ戦略企画官



【パネリスト】

小川 信行

(おがわ・のぶゆき)

京都市都市計画局
歩くまち京都推進室
交通施設計画課長



【パネリスト】

【コーディネーター】 戸川 秀俊 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター特定准教授

ご挨拶

溝端 佐登史 京都大学 経済研究所特任教授・先端政策研究分析センター長

【司 会】 宇南山 卓 京都大学経済研究所教授・先端政策分析研究センター副センター長

お問合せ先
京都大学経済研究所シンポジウム事務局 (株)CSセンター内
〒604-8141 京都市中京区泉正寺町 334 番地 日昇ビル 5 階
Tel: 075-241-9620 Fax: 075-241-9692
E-mail: kier@cscenter.co.jp

KIER
KYOTO UNIVERSITY
Kyoto Institute of
Economic Research

CAPS

先端政策分析研究センター
The Research Center for Advanced Policy Studies

URL <https://www.caps.kier.kyoto-u.ac.jp/>